

6年 道徳

主題名	明るく生きる		
中心内容項目	A-2 主として自分自身に関すること（正直、誠実） 「手品師」		
	令和元年	9月13日	2次公開
	児童	6年 1組	24名
	授業者	松木 秀英	

1 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値（教師の価値観）

第5学年及び第6学年の内容の「A-2 正直、誠実」は、「誠実に、明るい心で生活すること」とある。

健康的で積極的に自分らしさを発揮できるようにするためには、自分の気持ちに偽りのないよう行動するとともに、何事に対しても真面目に真心を込めて、明るく楽しい生活を心がけようとする姿勢をもつことが大切である。

しかし、高学年ともなると、交友範囲が広がる反面、仲間意識が強くなり、友達の意見や損得、利害関係に左右され、誠実に生きることが難しいことが多くなっていく。こんな時期だからこそ、問題に対してしっかりと向き合い、自信をもって行動する大切さについて考えさせたい。

(2) 児童の実態（児童観）

本学級の児童は、運動会や修学旅行、1年生のお世話などの取り組みを通して、友達同士のつながりが強く、広がってきたと感じている児童が多い。

しかし、高学年特有の仲間意識が強い面も見られ、友達の評価や利害関係を考えて行動してしまうことも多い。そして、当番活動や係活動では損得を基準に行動してしまう児童もまだいる。

誠実に明るい心で生活することの大切さを理解している一方で、なかなか実生活では行動できない現実がある今こそ、何事に対しても真剣に向き合い、自分自身が考える誠実な生き方を実行する心情を育てたい。

【事前アンケート】

内容	結果
「誠実な人」とはどんな人だと思いますか。	きまりを守る 真面目 嘘をつかない 礼儀正しい よくわからない
あなたは約束を破ってしまったことがありますか。	はい…24人
どうしてですか。	面倒くさかったから 忘れていた もっと遊びたかった など
どちらかを洗濯しなければいけないとき、あなたはどうしますか。	迷う…15人 迷わない…9人

(3) 教材への思い（教材観）

本教材は、あまり売れない手品師が、長年の夢であった大劇場のステージに立てるチャンスを捨て、街角で出会った男の子との約束を守るという話である。夢である大劇場へ行くか、男の子との約束を守るのか主人公の葛藤が描かれた教材である。

手品師が大劇場か男の子か葛藤する姿を通して、何事に対しても真剣に向き合い、自分自身が考える誠実な生き方を実行していくこと。そして、他者の判断や損得、利害関係に左右されることなく、自分が正しいと判断したことを自信をもって実行していくことが誠実な生き方となり、自身の明るい生活や周りからの信頼につながっていくということに気付かせたい。

2 総合単元ユニットとの関係

最高学年となり、学校生活の様々な場面で他学年の手本となったり、先頭に立って活動したりすることが期待される。そして、2学期は保育所との交流学習や学芸会を通して友達同士のつながりもより深まっていくことであろう。

この学習を通して、どんなことに対しても誠実に向き合い、友達や利害関係に左右されることなく行動する大切さを考えるきっかけとしたい。また、誠実な生き方を大切にしながら、仲間と楽しく生活できるようにしたい。

3 研究との関わり

学び合う雰囲気づくりの工夫
教師と子供の温かい人間関係、子供同士の認め合いや励まし合いのできる関係によって、お互いが心を開き、自由に話し合うことができるようにする。

問題意識をもつようにする導入の工夫
子供が自分の問題として捉え、その追求や解決について必然性をもって行うようにする。

自我関与させる展開の工夫
子供が読み物教材の登場人物に託して自らの考えや気持ちを素直に語る中で、道徳的諸価値の理解を図る。

生活とつなげる振り返りの工夫
学習内容や学習活動を俯瞰して納得解をまとめることで、自分の生活や行動、今後の発展へとつなぐことに着眼する機会とする。

4 本時の学習

(1) 本時のねらい

- ・何事にも真剣に向き合い、自分自身が考える誠実な生き方を実行しようとする心情を高める。

(2) 本時の展開

	活動内容・予想される児童の反応（○発問 ◎中心発問）	教師の支援・評価・研修との関わり ●支援 □評価指標 ◎研修との関わり
価値への方向付け	1 ねらいとする道徳的価値に対する興味・関心を高め、「課題」を設定する ○「誠実な人」とはどんな人だと思いますか。 ・嘘をつかない人 ・約束を守る人 ・やさしい人 ・他人のために頑張る人 ・よくわからない など ○あなたは自分自身を「誠実」だと思えますか。 ・誠実だと思う ・思わない ・よくわからない ※理由を交流する。 ○あなたは誠実な人でありたいと思えますか。 《本時の課題》 「誠実な人」について考えよう。	●学び合う雰囲気づくりを行う。 ●必要に応じてアンケートを活用する。 ◎「誠実な人」へのイメージを確認するとともに、自分自身のことにも目を向けさせ、問題意識を高める。
	2 教材「手品師」を通して、「課題」を追求する ○手品師は誠実な人だと思いますか。 ・誠実だと思う ・誠実ではないと思う ・迷う など 理由を交流する。 ○もし、手品師が大劇場へ行ったら、「誠実」ではないのでしょうか。 ・誠実ではない～約束を破ることになるから ・誠実～真剣に悩み、自分の夢を追い求めても悪くない ◎あなたは、どんな人が誠実だと思いますか。 ・物事に真剣に向かう ・自分のことだけでなく、相手のことも向き合い考える ・損得で行動しない 《共通解》 ・物事に真剣に向き合い、相手のことや自分のことを考えて行動する人も 誠実。 ○この手品師は、これからどうなると思えますか。	●教材の内容を整理する。 ◎手品師の立場になって考えさせることを通して、自分事として考えさせる。 ●手品師の置かれている状況や言動をわかりやすくまとめ、子供たちの思考を助けるように板書を構成する。
	3 価値について納得解をまとめる ○「誠実」について、自分自身の今までの生活を振り返り、今日の学習を通して考えたことや大事なと思ったことは何ですか。 （ノートにまとめる・交流）	●手品師の未来を考えさせることで、誠実さが明るい未来に繋がることを確認する。 ◎本時の学習で学んだことについて、自分のこれまでとのつながりや、これからの生活にどのように生かすことができるかを考える。 □どんなことにも誠実に向き合い、しっかり考えて行動しようという意欲をもつことができたか。 【発言・ノート】

(3) 本時の評価

- ・何事にも真剣に向き合い、自分自身が考える誠実な生き方を実行しようとする心情を高めることができたか。